

第1回 神戸港カーボンニュートラルポート(CNP)協議会 議事概要

日時：令和4年6月30日（木） 13:30～14:45

場所：神戸ポートオアシス 5階502・503会議室（WEB併用）

●議事

- (1) 神戸港 CNP 協議会について
 - ・神戸港 CNP 協議会開催要綱
 - ・神戸港 CNP 協議会の進め方
- (2) CNP 形成の背景・神戸港における取組みについて
- (3) 「神戸港 CNP 形成計画」の方向性(案)について

●委員からの主な意見

- 神戸港における太陽光発電装置の導入は、新たに倉庫が多数建設されることが想定しにくい状況下であり、既設倉庫では荷重等の問題から建物改修等が必要など、課題がある。
- 神戸港においては、水素 CGS など、他港に先駆けて先進的な水素の実証事業等を行っているが、グリーン水素の国内製造という点では課題がある。また、LNG 等の輸入拠点基地がある姫路港など、他港との連携も有益ではないか。
- 「世界的に ESG の潮流がある中で神戸港が選ばれる港湾となることを目指す」という視点を主眼に CNP 形成計画を策定するのが望ましい。
- 港勢拡大の中長期施策として、近隣他港との連携も含め、クリーンエネルギーを安価・安定・大量に供給できる港湾を目指すべきではないか。
- 水素だけに特化するのには一定のリスクが伴うため、「ダイナミックケイパビリティ」と呼ばれる柔軟性のある官民連携した組織づくりが必要。
- 現状をベースとした温室効果ガス削減目標を議論するのではなく、神戸港及び後背圏の経済活動の将来像も見据えたうえで、CO2 削減策を考える必要があるのではないか。
- 水素を中心としつつ、多様なエネルギー源の動向を注視し、神戸港の CNP 形成を推進していく方針には賛成である。そのなかで、メタネーション技術など、エネルギーの利用形態の多様性といった点から、どのような取組みが考えられるかも議論すべき。